

2018年度
龍谷大学国際社会文化研究所・
淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
共同研究シンポジウム開催事業

アジアの 仏教ソーシャルワーク

～日本が忘れてきたもの～

2018年12月22日(土) 10:00～16:00

龍谷大学大宮キャンパス東翼 [シンポジウム]3階・302教室 [展示]3階・303教室
〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1

開催趣旨

社会福祉の領域では、近年、ソーシャルワークのグローバル定義という新方向が示され、これまでの西洋中心の定義から、「地域性」が重視されることになっています。そして、いわゆる西洋型のソーシャルワークとは異なる、アジアの文化や伝統に根差したソーシャルワークの在り方について、現在、日本仏教社会福祉学会や淑徳大学（文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）などが中心となって、その可能性を仏教に求めて検討を進めています。しかし、こうした議論は東京を中心になされているので、関西でも議論を深めてみよう、今回、龍谷大学と淑徳大学との共催で京都にてシンポジウムを開催することになりました。ある意味で、アジア地域の仏教ソーシャルワークの実情を知ること、西洋に感化されてきた日本のソーシャルワークが置き忘れてきたもの（仏教の視点など）を振り返る機会になればとも期待しています。

アジアの仏教ソーシャルワーク紹介

(10:00～11:30)

開会の辞

佐藤彰男 教授
(龍谷大学社会学部社会学科、国際社会文化研究所長)

秋元 樹 教授
(淑徳大学アジア国際社会福祉研究所長)

イントロダクション

【コメンテーター】郷堀ヨゼフ 准教授
(淑徳大学アジア国際社会福祉研究所)

カンボジアの仏教ソーシャルワーク

Dr. Bora Chun
ボラ・チュン 教授
(王立ブノンペン大学人文・社会学部ソーシャルワーク学科)

モンゴルの仏教ソーシャルワーク

Dr. Batkhishig Adilbish
バットキシグ・アディルビッシュ 准教授
(モンゴル国立大学人文科学部社会学・ソーシャルワーク学科)

シンポジウム

(13:00～16:00)

研究紹介(議論テーマ主旨説明)

郷堀ヨゼフ 准教授
(淑徳大学アジア国際社会福祉研究所)

【シンポジスト】Dr. Batkhishig Adilbish
バットキシグ・アディルビッシュ 准教授
(モンゴル国立大学人文科学部社会学・ソーシャルワーク学科)

Dr. Bora Chun
ボラ・チュン 教授
(王立ブノンペン大学人文・社会学部ソーシャルワーク学科)

鍋島直樹 教授
(龍谷大学文学部真宗学科、人間・科学・宗教オープンリサーチセンター長)

【コメンテーター】中根 真 教授
(龍谷大学短期大学部学部長、短期大学部こども教育学科)

【コーディネーター】藤森雄介 教授
(淑徳大学アジア国際社会福祉研究所長補佐)

閉会の辞

長上深雪 教授
(龍谷大学副学長、社会学部現代福祉学科)

【総司会】栗田修司 教授
(龍谷大学社会学部現代福祉学科、国際社会文化研究所)

※使用言語は、日本語と英語で通訳が入ります。レシーバー(150台)の貸し出しを希望される場合は、開始15分前に会場へお越しください。
※当日は、3階303教室にてアジアの仏教ソーシャルワークや各研究所の研究成果に関する展示を行います。



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

380
YEARS
ANNIVERSARY



2019年に創立380周年

協力 龍谷大学人間・科学・宗教オープンリサーチセンター
後援 日本仏教社会福祉学会

アジアの仏教ソーシャルワーク

～日本が忘れてきたもの～

シンポジスト紹介



Dr. Bora Chun (ボラ・チュン)

Department of Social Work, Faculty of Social Science, Royal University of Phnom Penh
(王立プノンペン大学人文・社会学部ソーシャルワーク学科)

カンボジア

Professor (教授)

[専門] ソーシャルワーク

[経歴] 長年にわたって国連組織や NGO 団体のメンバーとしてカンボジアの保健衛生、特に HIV/AIDS 予防に携わる。政府機関の相談役として、ソーシャルワーク、労働環境、保健衛生等に関する国の政策、方針、ガイドライン等に関わる。

カンボジアソーシャルワーカー協会初代理事長、国連機関、エイズ関連の政府機関や NGO などを歴任した。
ワシントン大学 ソーシャルワーク修士号



Dr. Batkhishig Adilbish (バットキシグ・アディルビッシュ)

Department of Sociology and Social Work, School of Arts and Sciences, National University of Mongolia
(モンゴル国立大学人文科学部社会学・ソーシャルワーク学科)

モンゴル

Associate Professor (准教授)

[専門] ソーシャルワーク、子ども福祉

[経歴] オーストラリアで学位取得後、モンゴルにおけるソーシャルワーク分野の立ち上げに関わる。長年にわたってソーシャルワーク教育と実践に携わり、特に子どもの保護と権利、家庭内暴力、ソーシャルワークサービスのプログラムと評価を専門としている。

ワシントン大学ブラウン・ソーシャルワーク校 ソーシャルワーク修士号
フリンダース大学 (オーストラリア) 博士号 (PhD)



Professor Naoki Nabeshima (鍋島直樹)

龍谷大学文学部真宗学科

(Department of Shin Buddhism, Faculty of Letters, Ryukoku University)

日本

教授 (Professor)

[専門] 真宗学。仏教生命観、生命倫理学、親鸞における生死観と救い、ビハラー活動論。

[経歴] 人間・科学・宗教オープンリサーチセンター長、浄土真宗本願寺派真覚寺住職、龍谷大学大学院実践真宗学研究科科長、臨床宗教師研修主任、日本医師会生命倫理懇談会委員、京都府立医科大学医学倫理審査委員、浄土真宗本願寺派ビハラー活動推進委員、日本スピリチュアルケア学会理事などを歴任している。
龍谷大学文学部、龍谷大学大学院文学研究科博士課程真宗学専攻満期退学。

[受賞] 日本医師会優功賞 (2013)、真宗連合学会賞 (1993)

[申し込み]

参加費 無料

事前の申し込みは必要ありませんが、手話通訳(日本語)をご希望の場合には下記「問い合わせ先」に12月10日(月)までにご連絡ください。
昼食の提供・販売はありません。

[問い合わせ先]

龍谷大学 国際社会文化研究所事務室(研究部内)

TEL:077-543-7742 E-mail:setaken@ad.ryukoku.ac.jp